第６３回全道高等学校
新聞研究大会（空知大会）

分科会案内

全道高等学校新聞研究大会で最も大切な活動は分科会です。全道各地で新聞を作っている仲間たちがお互いの持っている技術や経験、さらには新聞づくりの情熱をぶつけ合い交流します。

経験は関係ありません。みんな新聞をつくる仲間です。意見や疑問点をぶつけ、技術を学び、新しい発見をし、仲間と繋がり、明日からの新聞づくりのエネルギーを蓄えよう。

★分科会参加の準備★

１．アップロードを確認しよう

① どの分科会になったのか
８月３０日（金）～
岩見沢東高ＨＰを確認
http://www.iwamizawahigashi.hokkaido-c.ed.jp

② **自分の大会番号**を確認
→大会中の出席番号です
提出物に必ずつけます

③ 提言者レジュメを印刷
→参加する分科会分は
各自で印刷して持参です

２．事前準備物を確認しよう

右の一覧表で要チェック

３．提出方法を確認しよう

① 提言者（発表をする３名）
→岩見沢東高校へメールで提出
〆切＝８月１９日

② 参加者（分科会に参加全員）
→大会当日に持参
封筒に入れて
・分科会名　・自分の大会番号
・学校名　・氏名　を明記

！注意！
ⅡＡとⅡＢ①とⅡＢ②分科会＝事前にｸﾘﾆｯｸ用を２部提出。
さらに大会持参分もアリ。

★全道大会１日目には★

１．分科会打合せに出席

時間＝１５：５０　スタート

① **ⅡＣ分科会＝全員**が対象
全体説明と編集分担を班で会議。

② ＩＡ　ＩＢ　ⅢＡ　ⅢＢ　Ⅳ
分科会＝提言・司会・助言・運営者が対象。
進行の方針と手順を確認。

※分科会打合せが無い人は
「展示新聞鑑賞会」に参加です

	分科会番号 テーマ	討　議　内　容 実　技　内　容	レジュメ	新聞	カメラ
高校生新聞のあり方	**ＩＡ** 高校生新聞の **役割と可能性** を考える	高校生新聞のあり方、役割、可能性について話し合います。高校生新聞は「何を」「何のため」「どう伝えるか」について考えます。ミニ企画も用意！	○	△	×
	ＩＢ 高校生新聞の **企画と取材** を考える	各校での企画の立て方や編集会議の進め方、取材方法などの情報交換をし、新聞作成活動の向上を目指します。高校生の販売実習も最後に取材。	○	△	×
よい紙面の作り方（実践編）	**ⅡＡ** よりよい新聞をつくるために **他校紙**に学ぶ 限定４０名	講師は指導した新聞が全国で数々の受賞歴を持つ前札幌啓成高校新聞局顧問の一井美香先生。新聞記事（**事前提出２部**）のアドバイスと読み比べで魅力ある記事を目指します。	○	○ ※注	×
	ⅡＢ① 技術の向上① **取材実習** 限定４０名	講師はご自身も高校生記者だった道新の渡辺多美江さん。取材能力を高め良い記事を書く力をつけよう。ﾗﾉﾍﾞ作家のタンサン氏の取材実習を予定。（**事前提出２部**）のクリニック付き。	○	○ ※注	○
	ⅡＢ② 技術の向上② **レイアウト実習**	講師は潮陵新聞を一気に変革した小樽潮陵高校の岩田勝美先生。書いた新聞は読まれてナンボ。読者の目を引きつけ、手にされるためのコツを実習します。（**事前提出２部**）のクリニック付き。	○	○ ※注	×
	ⅡＣ 技術の向上③ **地域取材とﾊﾟｰｿﾅﾙ編集長** 限定３６名	講師は指導した新聞が全国速報賞の受賞歴を持つ名寄高校の松本春樹先生。少人数での新聞発行を応援します。ファームレストランを取材して新聞作成ソフトを使い１日で新聞を作ろう。	○	×	○
企画・特集のために	**ⅢＡ** **校内生活** を特集に	校内生活に関わる共通テーマを話し合い、企画記事とする場合どのような視点やアプローチがあるか話し合います。今回のテーマは「ＬＧＢＴ」です。	○	△	×
	ⅢＢ **社会生活** を特集に	社会生活に関わる共通テーマを話し合い、企画記事とする場合どのような視点やアプローチがあるか話し合います。今回のテーマは「高校生とボランティア」です。	○	△	×
支部活動	**Ⅳ** **支部活動** を活発にするために 限定３６名 (各支部１名以上)	高校生新聞を発行する学校が減少して支部活動も元気がない傾向です。メンバーを集めて活気ある活動には、どんなﾄｰｸで部員ＧＥＴにつなげる？。どんな大会が楽しくてためになる？活動活性化のヒントを探ります。	○	×	×

●ＩＡ分科会　【役割と可能性】

高校生新聞の役割と可能性を考える

point

- **なぜ高校生新聞を作っている？**
- **高校生新聞だから出来ることや果たすべき役割は何？**
- **何のためにどう伝えていく？**

→　各校が作った新聞を持ち寄って活動を発表しあいます。
１校の体験を参加者みんなで共有しよう。
新聞づくりのエネルギーとヒントを生み出そう。

分科会時間の全部が会議だときっと大変です。紙面に使える息抜きコーナーになるかも！？ゲームをしませんか？はさみとノリを持ってきてください★

★分科会内容★

１．高校生新聞に出来ることはどんな事？

①　自校新聞の報告
　・どんな記事をどのように載せているか　　・読者の反応や記事掲載による影響や変化
②　上の①から、高校生新聞が校内に果たす役割を班で相談
③　高校生新聞が校内以外に地域や社会に対しても貢献できる事は無いか班で相談

２．新聞を作る困難をどう乗り越える？

①　取材困難の報告
　・取材拒否、掲載拒否、発行禁止、記事への過干渉など取材で困った事例を持ち寄る
②　上の①から、どう対処したか、どんな対処方法があるか班で相談

３．高校生新聞を発行する意義は？

①　目標と達成
　・新聞制作活動をとおして感じたやりがい、喜びを報告する
②　上の①から、なぜ高校生新聞をつくるのか、新聞発行の意義を班で相談

★レジュメの作成★　・・・ｻｲｽﾞはＡ４判「提言or参加と大会番号」明記
「提言者レジュメの書き方」「参加者レジュメの書き方」を参照

１．提言者（分科会で発表の３名）

①　分科会内容の１～３について報告する
②　提言を補足する資料新聞の添付ＯＫ
　(ｻｲｽﾞ＝A4判。ﾀﾌﾞﾛｲﾄﾞやﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ＝A3判にﾘｻｲｽﾞ)
③　提出は、当番校の**岩見沢東高へメール**
　〆切＝８月１９日（月）

２．参加者（分科会で発表以外の全員）

①　8/30日（金）に当番校ＨＰにアップされる
　提言者レジュメと資料を印刷して読む
　　→大会に必要。**必ず各自で持参**
②　読んだ内容を踏まえ、分科会内容1～3について
　・自分の学校の報告
　・提言者への感想、意見、質問点など記入
③　レジュメには、**自分の大会番号**、分科会名
　氏名や学校を明記する
④　資料添付もＯＫ
　(ｻｲｽﾞ＝A4判。ﾀﾌﾞﾛｲﾄﾞやﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ＝A3判にﾘｻｲｽﾞ)
　資料は必ず**レジュメにホチキスで接着**させる
⑤　提出＝分科会人数＋２５部を
　封筒（**分科会名、大会番号、氏名、学校名を明記**）に入れ、大会初日に受付へ提出
　(スムーズな大会運営にご協力ください)

message

ＩＡ分科会　運営
滝川西高校新聞局
３年　**庄野　心**　　３年　**西谷　桐音**

みなさんこんにちは。ＩＡ分科会運営担当の庄野と西谷です。ＩＡ分科会では、普段新聞を作成していて「辛い」と感じている人や「何でこれやってるの？」って感じながらも「他の学校ってどうなんだろう」「ホントは良い新聞を作りたい」と思っている皆さんに参加してもらえる分科会にしたいと思って準備しています。

分科会には、提言レジュメを読んでの自校の状況や自分の考えのレジュメを持って来てください。面倒ですが、最初に考えておくと班や全体での討議に参加しやすいと思います。新聞づくりは楽しい事ばかりでは無いです。でも分科会テーマに沿って、私たちは何故新聞を作る？高校生新聞だからこそ何ができる？果たすべき役割は？そして「何を何のために、どのように伝えていく？」をみんなで考え、学校に戻っての新聞づくりのエネルギーにしましょう！その他、どんな記事を載せているのかや、困る事あるある、読者の反応を共有し合いましょう。

●ＩＢ分科会　【企画と取材】

高校生新聞の企画と取材を考える

point

- **どのように企画を立てている？（内容や取材先）**
- **どうすれば企画が良くなる？　想定外はどうする？**
- **実際取材して、どう伝えたいかどう決める？**

→　良い企画や取材のためにどうすれば良いかがテーマです。
各校の取り組み方を情報交換して、学校に帰ってからの新聞づくりの参考にしよう。

★分科会内容★

１．どんな企画を新聞で取り上げた？

①　企画取材の取組報告
・企画のスタート（ネタの発掘と選別）　・企画の掘り下げ（事前の準備と調査、観点や角度、膨らませ方）
・企画の取材（取材先の選定、記事で伝える事をどう決める）

②　企画記事の反応や成果
・企画の自己評価（良い点、反省点、改善点）　・読者の反応や記事掲載による影響や変化

③　上の①と②から、提言校の企画のとりくみと自校で行った企画との比較を班で相談

２．企画記事はどうすれば良くなる？　想定外はどうする？

①　取材の工夫と伝える工夫の報告
・良い取材への工夫（質問内容、事前準備など）　・伝える工夫（アンケート、写真、資料など）

②　想定外への対処　・実施した企画取材の困難点　・事前予測した方向性と違ってきた場合の対処

③　上の①と②から、どう対処したか、どんな対処方法があるか班で相談

３．実際の取材から、伝える目的と内容を絞ろう

①　高校生の実習販売を取材（ﾛﾋﾞｰで滝西ﾌﾞﾗﾝﾄﾞのﾘﾝｺﾞｼﾞｭｰｽ販売予定）
・記事で伝えたい事　・どんな点をフォーカスするか
・どんな質問が必要か　・完成した記事を読みあい検討

★レジュメの作成★　・・・ｻｲｽﾞはＡ４判。「提言or参加と大会番号」明記
「提言者レジュメの書き方」「参加者レジュメの書き方」を参照

１．提言者（分科会で発表の３名）

①　分科会内容の１～２について報告する
②　提言を補足する資料新聞の添付ＯＫ
(ｻｲｽﾞ＝Ａ4判。ﾀﾌﾞﾛｲﾄﾞやﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ＝Ａ3判にﾘｻｲｽﾞ)
③　提出は、当番校の**岩見沢東高へメール**
〆切＝８月１９日（月）

２．参加者（分科会で発表以外の全員）

①　8/３０日（金）に当番校ＨＰにアップされる
提言者レジュメと資料を印刷して読む
→大会に必要。**必ず各自で持参**。
②　読んだ内容を踏まえ、分科会内容1～2について
・自分の学校の報告
・提言者への感想、意見、質問点など記入
③　レジュメには、**自分の大会番号**、分科会名
氏名や学校を明記する
④　資料添付もＯＫ。
(ｻｲｽﾞ＝Ａ4判。ﾀﾌﾞﾛｲﾄﾞやﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ＝Ａ3判にﾘｻｲｽﾞ)
資料は必ず**レジュメにホチキスで接着**させる
⑤　提出＝分科会人数＋２５部を
封筒（**分科会名、大会番号、氏名、学校名、を明記**）に入れ、大会初日に受付へ提出　（スムーズな大会運営にご協力ください）

message

ＩＢ分科会 運営
滝川西高校新聞局
２年　**成田　汐音**　　２年　**東 絵莉**

みなさんこんにちは。ＩＢ分科会運営の成田と東です。ＩＢでは、「企画記事ってどうやって作ればいいかわかんない」、「どうやったら良くなるんだろう？」と実はみんな思っている疑問を他校との交流で解決し、明日からの新聞作りに生かそうという分科会です。

今回は、今までどんな企画を取り上げたか、どうすれば良くなるか、充実した企画会議にするためのポイントを話し合います。まず、提言のレジュメをもとに、持ち寄った意見と状況を話し合い、情報交換をします。この活動で自校の伸ばすべき点を見つけ、さらに他校の「真似したい！」「すごい！」「そうやって工夫しているんだ！」を見つけます。

最後に実際に班で「ごっそリンゴ」の取材と、その後の班会議をみんなでやってみようと思います。どうやって企画や会議をしているのか知りたい！、自分の新聞作りのスキルを上げたい！という人にぜひ参して欲しいです。一緒に頑張りましょう。

●ⅡＡ分科会　【他校紙に学ぶ】　限定４０名

よりよい新聞をつくるために他校紙に学ぶ

point

- **取材内容をどう記事化する？（得た情報をどう精査し記事にするか）**
- **良い記事って何だろう？　（わかる、読みやすい記事のために）**
- **改良記事を書き、互いの記事を読みあおう**

→　良い記事を書くためにどうすれば良いかがテーマです。
一井美香先生の書き方講習を受け、持参記事を改良しよう。
記事を読みあい伝わり方の変化や改善を確認しよう。

★分科会内容★

１．取材内容をどう記事化する？

①　記事作成の報告
- ・取材のふりかえり（作成した新聞記事の取材の苦労、上手くいったこと、課題）
- ・記事づくり（得た情報の精査方法、書く時の注意点と工夫、この記事で伝えたかったﾎﾟｲﾝﾄ）
- ・自己評価（良い点、反省点、改善点）

②　提言校の記事作成の報告をもとに、班で相談（良い点、改善点）

③　自分の用意してきた「新聞記事付きレジュメ」を使い班内で発表

２．良い記事とは？

①　一井先生からの「記事づくり」の解説と練習
- ・良い記事づくりにはまず取材
- ・記事の書き方
- ・取材メモから、どう記事化する
- ・記事作成の留意点
- ・適切な見出しの効果、見出しの工夫

②　事前提出された新聞記事のクリニックを交えながら解説（良い点と改善点の指摘）

参加者が書いた記事が入っている新聞が必要。新聞のコピーに、参加者の記事部分をマーカーで囲って２部郵送。
提出先：〒００４－０００４
札幌市厚別区厚別東４条８丁目６番１号
札幌啓成高等学校
新聞局顧問　岩間　洋之先生　宛て

３．改良記事を作成しよう（記事添削体験）

①　ｂｅｆｏｒｅ→ａｆｔｅｒを班員で回し読みしよう

②　班内で改良版の良くなった点を検討しよう

★レジュメの作成★　・・・ｻｲｽﾞはＡ４判。「提言or参加と大会番号」明記

提言者＝「提言者レジュメの書き方」、
参加者＝「ⅡＡの参加者レジュメの書き方」を参照

１．提言者（分科会で発表の３名）

①　分科会内容の１の①について報告する

②　提言に関連する自校新聞を資料としてつける。
(ｻｲｽﾞ＝A4判。ﾀﾌﾞﾛｲﾄﾞやﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ＝A3判にﾘｻｲｽﾞ)

③　提出は、当番校の**岩見沢東高へメール**
〆切＝８月１９日（月）

２．参加者（分科会で発表以外の全員）

①　8/30日（金）に当番校ＨＰにアップされる
提言者レジュメと資料を印刷して読む。
→大会に必要。**必ず各自で持参**。

②　読んだ内容を踏まえ、参加者レジュメの作成
・・・・・ⅡＡ分科会参加者レジュメ作成を参照
（1）提言者への感想、意見、質問点など記入
（2）自作の記事についての報告を記入

③　レジュメには、**自分の大会番号**、分科会名
氏名や学校を明記

④　郵送＝**ｸﾘﾆｯｸ用**新聞２部　を
札幌啓成高校　岩間　洋之先生　宛て
〆切＝９月５日（木）

⑤　提出＝分科会人数＋２５部
ⅡＡ分科会参加者レジュメの書き方に沿ってつくったレジュメを
封筒（**分科会名、氏名、学校名、自分の大会番号を明記**）に入れ、大会初日に受付へ提出

message

ⅡＡ分科会　講師
前札幌啓成高校新聞局顧問　一井　美香 先生

せっかく作った新聞は多くの人に読んで欲しい…は、新聞局（部）員なら誰しも持っている願いでしょう。それにはもちろん発行するタイミング（タイムリーに早く）と何をどう取り上げるかという素材と、その学校における新聞活動の信頼度も関わってきます。

この分科会では、まず新聞の原点となる取材をどう充実させるか、そしてそれをどう文章にすれば、記事として効果的なのかを学びます。と同時に、読み手の気を引く見出しの在り方と効果的な紙面整理の仕方を、他校の実践を参考に確認していきます。情報をどう取捨選択・整理し、それをわかりやすく正確に提示するか。魅力ある新聞のために必要な力を実際に書いていく中で高めていきましょう。

●ⅡＢ①分科会　【取材実習】　**限定４０名**

技術の向上①
取材実習

point

- **よい取材とは？（下準備や質問のツボを渡辺さんが解説）**
- **取材実習をしよう（取材＝ライトノベル作家　タンサン　氏）**
- **記事を書き、互いの記事を読みあおう**

→　インタビュー取材とその記事の作成がテーマです。
北海道新聞の渡辺多美江さんの指導で、取材実習と記事作成を体験しよう。伝わり方の差や改善を確認しよう。

★分科会内容★

１．良い取材をするには？

①　下準備で必要なこと
　・取材前に何をする（事前情報を得る方法、、質問の用意）
　・今回の取材に向けての準備内容の事を班で共有

②　渡辺さんの解説（良い取材のためにするべき事、質問のツボ）
　・事前提出されていた、新聞の「記事」についてアドバイス

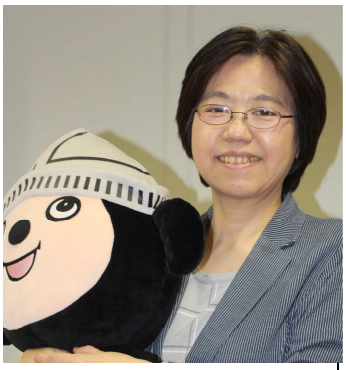
参加者が書いたインタビュー記事が入っている新聞が必要。新聞のコピーに、参加者の記事部分をマーカーで囲って２部郵送。
提出先：〒０６８－０８２０
岩見沢市東山８丁目１番１号
岩見沢東高等学校
　新聞局顧問　星野真秀先生　宛て

２．取材実習

①　実際の質問タイムで　タンサン氏　へのインタビュー（写真撮影も班の人員で交代して行う）
②　質問タイムの活動についてアドバイスと助言（渡辺さんより）
③　アドバイスと助言をもとに、追加質問タイム

３．取材メモから記事を書こう

①　読者に伝えたいｐｏｉｎｔを整理しよう
②　記事を実際に作成しよう
③　記事を班で回し読みをして、互いの記事を分析しよう



★レジュメの作成★　・・・ｻｲｽﾞはＡ４判。「参加と大会番号」明記
「ⅡＢ①とⅡＣのレジュメの書き方」を参照

１．ⅡＢ①分科会参加者全員

①　8/３０日（金）に当番校ＨＰにアップされる
　分科会名簿で、ⅡＢ①分科会である事を確認

②　次の観点（1）～（3）が記入された
　参加者レジュメを作成する。
　観点（1）取材前にいつもどんな準備をするか
　　→理由も添えて
　（2）タンサン氏の事前調査
　　→調べてわかった事を記入
　（3）今回の取材でどんな質問をするか
　　→幹となる質問を３本たてる

③　レジュメには、**自分の大会番号**、分科会名
　氏名や学校を明記する

④　郵送＝**ｸﾘﾆｯｸ用新聞２部**　を
　　岩見沢東高校　星野　真秀先生　宛て
　　〆切＝９月５日（木）

⑤　提出＝ 参加者レジュメ１６部
　※班員内で情報共有＋運営・司会・助言の分
　封筒（分科会名、氏名、学校名、自分の大会番号を明記）に入れて**大会初日に受付で提出**

message

ⅡＢ①分科会　講師
北海道道新聞
ＮＩＥ推進センター委員　　**渡辺多美江** 氏

　みなさんこんにちは。私は高校新聞出身です。友達少ない子でした。ホントです。縁あって３年ほど前から、高校新聞の各種研修会に声をかけてもらえ、昔の自分や仲間たちを励ます気持ちで参加しています。嬉しいです。
　ここは、取材と原稿執筆のコツを実習中心に学びます。プロ（一応新聞記者）の理論をまぶしながら、高校新聞ならではの「勢いと迷い、勇気と内気」何でも来いのスキルアップ研修会です。ガシガシやってあたふたして・・・でも、わくわくするよ。引っ込み思案さんＯＫ、自信家さんは腕試しでどうぞ。みんなが満足できる分科会を、一緒につくろう。

★取材物品の用意★

当番校が用意＝「記事を書くための用紙」・・・記事作成のワークシート、編集作成用紙など
各自が用意＝「取材するための物品」・・・取材用ノート、筆記用具、カメラ、ＳＤカード、腕章
ＳＤカードはデータがカラの状態にして下さい。ﾏｲｸﾛ SD はＳＤにするソケット持参ならＯＫ。
「編集作業の物品」・・・はさみ、のり、見出し用ペン（経費節減のため各自持参です）

●ⅡＢ②分科会　【レイアウト実習】

技術の向上②
レイアウト実習

point

- **魅力あるレイアウトとは？（記事の置き方、写真や見出しの効果）**
- **レイアウトの禁止事項の確認（専門用語と理由も含めて）**
- **カッコイイ紙面を作成しよう。完成紙面の長所と改善点を検討しよう**

→　読者を引きつけるカッコイイ紙面作成がテーマです。
小樽潮陵高校の岩田勝美先生の指導で、レイアウトの間違い探しや見栄えするレイアウトへの変化を体験しよう。

★分科会内容★

１．魅力あるレイアウトとは？

①一般紙・他校紙の「囲み記事」から学ぶ
・「イチ押し！囲み記事」をしよう
→　レイアウトや目を引く見出しなど気に入った「囲み記事」を一般紙と自校紙で各１つずつ用意

囲み記事＝罫線などで長方形に囲まれたエリア内に、記事、見出し、写真などが配置されているものを指します

②レイアウトは何のためにある？
・見本新聞の良い点を（あれば良くない点も）見つけよう。どの点が自校新聞と違うか分析しよう
・班でレイアウトは何のためにあるか、各校での取り組みをもとに相談し発表（最後に岩田先生解説）

２．基本的なレイアウトと禁止事項の確認

①基本用語と禁止事項
・用語説明：見出し、リード、トリミング、キャプションなど。／禁止事項の理由確認：泣き別れ、飛び越し、両流れ
②配布された紙面で実践・・・・・・・直すべき点を班で分析し、発表しよう
③長所短所を考えよう
・X型（流し組）、T字型、ボックス型などレイアウトの基本型のメリット・デメリット
・ハラキリ、エントツ、シリモチなど禁止事項の是非

３．カッコイイ紙面を作ろう

①配布のパーツを使用して、カッコイイ紙面を組んでみよう
②組み上がった紙面について互いに評価し発表しよう

message

ⅡＢ②分科会　講師

小樽潮陵高校新聞局顧問
岩田　勝美 先生

写真に見出し。レイアウトを工夫することは、読者を紙面に引きつけるうえで大切なことです。でも斬新な割付をめざすあまり、禁じ手を使ってしまい読みづらくなることも。

この実習では、レイアウトの基礎から応用まで幅広く取り上げます。まずは一般紙からレイアウトのヒントを探りましょう。また全道の仲間が作った新聞から良いところを見つけ、自分たちの紙面作りにつながるきっかけとしてください。

見栄えがよい新聞づくりには、割り付けを試行錯誤することが欠かせません。この分科会に集まった仲間と実際に手を動かしてみましょう。みなさんとパズルを楽しむ感覚で、レイアウトへの理解を深めていけたらと思います。

★持参物の作成★　・・・のり・はさみも持参

１．ⅡＢ②分科会参加者全員

①　8/３０日（月）に当番校ＨＰにアップされる分科会名簿で、ⅡＢ②分科会である事を確認
アップされた**見本新聞をプリントアウト**
大会当日必要。持参する。

（1）**プリントアウトした見本新聞**に赤ﾁｪｯｸを入れてくる。
→ﾀﾞﾒな点を示す。改善点があると尚よい。１部

（2）**「イチ押し！囲み記事」・・Ａ4判両面印刷**
・自校新聞から１つ/一般紙から１つ
１つの面に１つの囲み記事。

Ｂ4絶対ＮＧ

A4 に入りきらない時＝Ａ３で作成し折る。
左上に分科会名、自分の大会番号、氏名、学校名明記。
※イチ押し！のスピーチ文を考えてくる

②郵送＝１校１紙の**クリニック用**新聞 ２ 部　を
小樽潮陵高校　岩田勝美先生宛て

③提出＝「イチオシ！囲み記事」**分科会人数+２５部**
封筒（分科会名、氏名、学校名、自分の大会番号明記）に入れて大会初日に受付で提出

★１校１号の新聞クリニック★・・・・

参加者がその学校から複数でも１校１号分に制限します。

期日厳守。添削時間必要です

事前送付した新聞の直すと良くなる点のｱﾄﾞﾊﾞｲｽが受けられます。頑張ったのにｲﾏｲﾁの紙面を出そう！
〒 047-0002　小樽市潮見台２丁目 1-1　小樽潮陵高校　岩田勝美　先生宛　〆切＝９月５日（木）

●ⅡＣ分科会　【地域取材＆パーソナル編集長】　**限定３６名**

地域取材 ＆ ﾊﾟｰｿﾅﾙ編集長

point

- **大地のテラス・直販所アグリ大河を取材して新聞をつくります**
- **少人数の新聞発行に強い味方＝パーソナル編集長**
- **たった半日でも紙面ができます！速報を発行する手順を学ぼう**

→　少人数で発行が困難な学校に朗報です。名寄高校の松本春樹先生の指導で、新聞編集ソフト「パーソナル編集長」を使い半日で紙面作成する技術を学びます。レイアウト例のオマケ付き。

★分科会内容★

１．事前の編集会議：大会初日にⅡCは全員参加の会議

①　地域取材と速報のコツを松本先生から説明

②　班ごとに会議＝(1)役割分担（編集長、写真係など）　(2)物品確認（カメラ、取材ﾉｰﾄなど）　(3)題字

③　取材先の情報交換

・各自事前にＨＰなどで調べた「大地のテラス」「アグリ大河」の情報を交換と整理

・質問しておくべき事項、撮影しておくべき写真を班で相談

２．実際の取材（バスで移動）　集合＝まなみーる（いわみざわ市民会館）駐車場で９時10分
出発＝９時１5分予定。座席は当番支部の指定場所に班で座る

①　取材活動＝・事前の編集会議で予定した事項　　・取材場所で思いついた事項

②　帰りのバス内で編集会議＝(1)記事の方向性や分担　　(2)新聞の題字の決定

３．パーソナル編集長を使ってみよう

①　パーソナル編集長の使い方を学ぶ（松本先生の講義）

②　紙面作成　　・紙面組みと見出し作成＝パーソナル編集長

・写真のセレクト、トリミング

・記事の作成＝もう一台のパソコンの word

★レジュメの作成★　**・・・ｻｲｽﾞはＡ４判。「参加と大会番号」明記**
「ⅡＢ①とⅡＣのレジュメの書き方」を参照

１．ⅡＣ分科会参加者全員

①　8/３０日（金）に当番校ＨＰにアップされる
分科会名簿で、ⅡＣ分科会である事を確認。

②　次の観点（1）～（2）が記入された
参加者レジュメを作成する。
観点（1）大地のテラス・アグリ大河の関連情報整理
（2）取材時にどんな質問をしておくべきか
・記事の方向性（何が伝わるようにしたいか）
・そのために必要な質問を用意してくる。

③　レジュメには、**自分の大会番号**、分科会名
氏名や学校を明記する

④　提出＝　**１　６部**　（班員で情報共有分と運営分）

大会初日の分科会打合せに持参
※受付に提出しないでください

message

ⅡＣ分科会　講師
名寄高校新聞局顧問　松本　春樹 先生

みなさんこんにちは。ⅡＣ分科会では活発に新聞発行している学校ではなく、**「新聞制作の経験が少なくて新聞発行に困っている」「新聞局の人数が少なすぎて新聞発行が大変」という学校のみなさんに参加してほしい**と考えています。

今回はパーソナル編集長の基本操作を学び、あらかじめ用意されたレイアウトを使って、新聞を半日で制作します。「え～っ！こんな簡単に新聞ができるの」と実感し、学校に戻ってからも活発に新聞発行できるようになりましょう。また、分科会で使用したパーソナル編集長の新聞レイアウトのデータ集は参加者全員に差し上げます。自分でレイアウトができるようになるまで、自由に使用してください。

それでは、全道大会で一緒に頑張りましょう。

★取材物品の用意★

当番校が用意＝「紙面を組むための物品」
→カードリーダー、パソコン（各班２台）、
プリンター、印刷用紙

各自が用意＝「取材をするための物品」
→取材ノート、筆記用具、カメラ 、腕章
お願い：のり、はさみも持参してください（経費節減のため）

※画像記録：**カードのデータがカラの状態で持参**　（不要データが大量にあると時間ロスと混乱原因）
メディア＝ＳＤカードのみ（カードリーダーの関係）。マイクロＳＤ＝ＳＤサイズにするソケット持参ならＯＫ